



トクラス、「2人同時使用」ができるキッチン発売



トクラスは、キッチンでのワークスタイルの多様化に 대응べく、レイアウトや使い勝手の自由度を高めた「トクラスキッチンベリー」を10月1日(木)にリニューアル発売いたします。共働き世帯や、夫が定年退職を迎えた世帯の増加に伴い、かつては“主婦の城”であったキッチンは、家族の誰もが使用する場所に変化しています。当社調査によると、共働き世帯において、2人以上でキッチンを使用することのある人は6割を超え、男性の8割弱がキッチンでの家事に参加しています。また、定年を迎えた世帯でも、男性の7割弱がキッチンでの家事に参加しています。

一方どちらの世帯でも現状のキッチンでは「並行作業」や「作業分担」がしづらいついた不満のあることがわかりました。家事の効率化はもちろん、家族の誰もが使いやすいキッチンを目指し、2人で同時に使用しやすい「デュアルワークスペース」を備えたキッチンプランを新たに提案いたします。また、調理家電の多様化に配慮し、調理家電のスペースやコンセントを設け、使い勝手を向上させました。さらに、キッチンスペースにぴったりと合わせる、間口(横幅)の微調整を業界で初めて標準プランと同額・同納期で対応します。これらと、好評の114色扉カラーなどを合わせることで、お取り扱い頂く工務店やリフォーム店には、お客様の多様な要望にお応えできる提案力や対応力を得る“家族みんなのキッチン”の提供を目指して参ります。

情報提供: トクラス

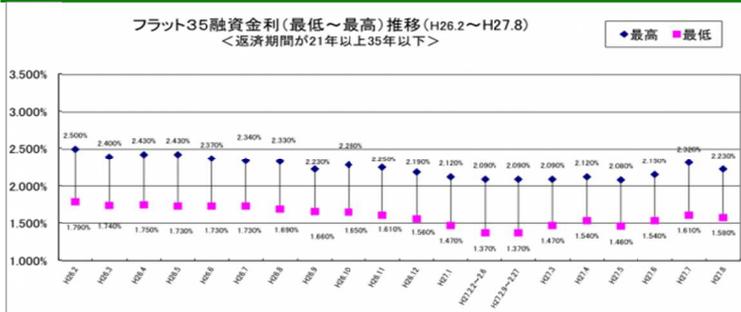
銘木の質感そのままに、触って感じるフローリング「コンビットワンダー」を新発売



ウッドワンは、銘木厚貼単板(1.2mm厚)を使用したフローリング「コンビットワンダー」を新たに8月3日より全国発売します。近年の住宅は、住まい手のニーズが多様化し、より素敵で質の高いインテリア性やオリジナル性のある住空間の提案が要求されています。ウッドワンでは、これまでの一般的な床材に比べ、意匠性が高く、個性豊かな住空間の提案が可能な「コンビットワンダー」を新たに発売いたします。「コンビットワンダー」は、一般的な表面単板0.3mm以下の薄単板を用いた普及品フローリングと異なり、木が本来もつ美しさと優しい手触り、足触りを最大限に活かす銘木厚単板(1.2mm厚)を表面単板に採用しました。表面塗装は、環境性と耐久性を兼ね備えたオリジナル塗装のナチュラルオイルフィニッシュ(添付資料2)を施しており、余計な着色や分厚いコーティングをせず、銘木そのままの色調、質感、触感が楽しめます。また表面材にはブラックチェリー、ウォールナット、ハードメープル、オークの4樹種をご用意し、お客様のイメージにあった室内空間をご提案します。

情報提供: ウッドワン

8月のフラット35金利、3カ月ぶりに下降



住宅金融支援機構は8月3日、民間金融機関が提供する「フラット35」の2015年8月の適用金利を公表した。融資率9割以下、返済期間が21年以上35年以下の主力タイプの金利幅は1.58%(対前月比▲0.03%)～2.23%(同▲0.09%)。最頻金利は1.58%(同▲0.03%)で、3カ月ぶりの下降となった。また融資率9割以下、返済期間が20年以下の金利幅は1.35%(同▲0.03%)～2.00%(同▲0.09%)。最頻金利は1.35%(同▲0.03%)で、こちらも3カ月ぶりに下がった。

情報提供: 新建ハウジング

持家一戸建て居住者の6割が家に不満 SuMiKa調べ

【図1】いま住んでいる家に不満を感じるか(全体)



(対象: 持家一戸建てに住む全国20代以上男女17,737名)

SuMiKa(港区高輪)は、持家一戸建てに住む全国20代以上の男女1万7737人に、「家のこだわり」と「リフォーム」に関する調査を行った。中古住宅を購入し、リフォーム・リノベーションをして暮らす人々が増えていることから、現在持家一戸建てに住む人の悩みから、5年後10年後も満足して暮らせる住まいをつくるためのヒントを探ったもの。「いま住んでいる家に不満を感じることはありますか」との質問に対し、「不満を感じる」と答えたのは合わせて約58.6%、「不満を感じない」と現状に満足しているのは約41.4%であった。不満を感じている人のうち、約4割が住んでから5年未満で不満を感じているという。「リフォームで改善したい住まいの悩みはなんですか」との質問には、約21.5%が「収納を増やしたい」と回答。「効率的な動線にしたい」が約20.5%、「もっと広くみせたい」が約13.1%と続いている。

情報提供: 新建ハウジング

次号は8/24に掲載致します。